



単位制高校の真実と学び方

あと少しで終業式を迎え、平成29年度が終わりま
す。私なりにこの1年を総括し、平成30年度につな
げなければならないと考えています。いいえ、私(鈴
木)が、というよりは、あなたが総括すべきことを、
あれこれ考えてみました。ちょっとだけ一緒に考えてみましょう。



あなたにとって、大通高校はどんな学校ですか？ あのと
き、この学校を志望した動機を覚えて
いますか？ よく聞かれる声は次のようなことでしょうか。



「3部制・単位制なので自分のペースで学べる」「選
択科目が豊富で自分の好きなことが学べる」「自分で時間割を
つくって勉強以外の自由な時間をつくり出せる」「学び直
しができる」「校内外にいろいろな教育プログラム、チャ
レンジ企画がある」。もちろん、その他にもいろいろな思いを

携えて大通高校を選んだ生徒もいることでしょう。この校長通信は中学生も読んでい
ると聞いたことがあるので、中学生にも考えてもらいましょう。

以前、集会で話したことがあります。「単位制・三部制の高校に入学さえすれば夢が叶うわけ
ではない。むしろ、いろんな落とし穴があるんだよ」と。そ
う、魔法のシステムなんかではないのです。普通の高校は
「単位制」ではあるけれど「学年制」とセットで運用され
ているので、学年で決められている科目(約10科目)中、





たった1科目でも履修（出席）と修得（評価・評定）のいずれかが欠けてしまうと単位が認定されず「進級」「卒業」できないわけです。

一方、大通高校は学年制ではありません。「年次」という表現は、入学してから1年次、2年次、3年次……と数えているだけで、便宜的に所属年次があるだけで進級という概念は存在しません。つまり、留年とか落第と呼ばれるシステムがないばかりに、単位が取れていなくとも進級したような気分になるという心理状態になるのです。

大通高校のような完全単位制は、自己責任が問われるシステムだともいえます。

「卒業するまでに最低限の74単位を取ればいい」という言い方は間違っただけではありません。しかし、物事の基準を最低ラインに合わせたり、後回しにしていると、その先に大きな落とし穴があるのです。

例えていうなら、「今日やるべきことを明日に回そう、いや、来週までにできればいいか……」

「前期は何だか気分が乗らないので後期に頑張ろうかな……」

どうでしょう？

自由と責任が表裏一体になっているのが完全単位制高校の本当の姿なのです。やる気がある人にとってはメリットがたくさんある学校です。あなたは、そこを生き切れるでしょうか。



大通高校のような学校は全国的に増えており、チャレンジスクール（再挑戦できる学校）、エンカレッジスクール（励まし勇気を与える学校）、クリエイティブスクール（学びの支援、協働を創り出す学校）と呼ばれています。大通高校には、チャレンジの機会もあります。励ましや勇気ももらえます。学びの支援や仲間と共に創造的な活動もできます。



もちろん、心身の不調が理由で学習が遅れてしまう人もいます。そんなときは、HR担任・教科担任に相談したり、スクールカウンセラーやキャリアカウンセラーの支援を受けながら自分のペースを見極め、一歩ずつ目標へ向かいましょう。さあ、4月から新たな挑戦を！